

住宅用火災警報器 メンテナンスカード

住宅用火災警報器は命を守る大切な機器です
設置・取付はもちろんですが
日頃からお手入れや点検を行いましょう！

警報器の寿命は
約10年！
定期的に
交換が必要です



★電池又は警報器本体の交換時期を忘れないように書いておきましょう

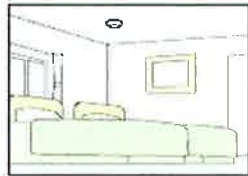
交換予定	年	月
------	---	---

雲南消防本部

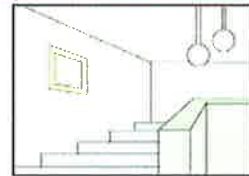
取付の方法や注意点は？

設置場所

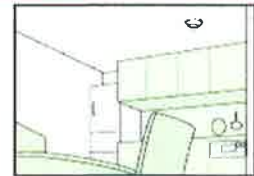
1. まずは寝室
2. 次に階段
3. さらにキッチン



就寝に使用する部屋に「煙式」を設置します。（階段、就寝している部屋のことで、来客が就寝するような部屋は除きます）



就寝に使用する部屋がある階の階段の踊り場の天井、又は壁面に「煙式」を設置します。（ただし、1階など容易に避難できる階は除きます。）



キッチンへの設置義務はありませんが、万が一のために「熱式」警報器の取付をお勧めします。

種類

住宅用火災警報器には、「天井」に取り付けるものと「壁」に取り付けるものの2種類があります。
さらに、「乾電池式」と「家庭用電源（100V）」の2つの方式があります。



設置上の注意点

〈天井の場合〉

- ▼通常の壁面からの取付位置
火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。
- ▼梁などがある場合の取付位置
火災警報器の中心を梁から60cm以上離します。
- ▼エアコンなどの吹き出し口付近の取付位置
換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。
- ▼壁面の場合
天井から15~50cm以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。

警報が鳴ったときは？

火災のとき

大声で周りに火災を知らせ、

119番通報をしましょう！

可能なら消火器などで

初期消火を行って下さい。

消火が難しそうであれば、

速やかに**避難**して下さい。



火災ではないとき

火災以外の湯気や煙などを感知して警報が鳴ったときは、警報音停止ボタンを押す、ひもが付いているタイプのものはひもを引く、もしくは室内の換気をするすると警報音は止まり、通常の状態に戻ります。

台所でよく鳴るとき・・・

煙や湯気のかからない場所に警報器の場所をかえるか、熱式の警報器に取り換えて下さい。

噴霧式の殺虫剤を使用するときは？

警報器を取り外すか、ビニール袋で覆って下さい。その際は火災予防に万全を期すとともに、殺虫剤の使用後は必ず警報器を元に戻して下さい。



点検の方法

●正常に作動するか、月に1回点検をしましょう。

お手入れをしましょう

警報器にホコリが付くと、火災を感知しにくくなります。汚れが目立ったら、乾いた布で拭き取りましょう。

特に、台所に取り付けた警報器は、煙や油で汚れていますので、布に水や石けん水を浸し、十分に絞ってから汚れを拭き取って下さい。



テストをしましょう

テストはボタンを押したり、ひもを引いて行えます。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。



テストをしても音が鳴らない・・・

次のことを確認しましょう。

- 電池はきちんとセットされていますか？
- 電池切れではありませんか？
(ピッ・ピッ・と短い音が一定の間隔でなったり、音声で知らせてくれるはずなのですが・・・)
- それでも鳴らない場合は故障が考えられます。
取扱説明書をご確認いただくか、お買い求めの販売店もしくは下記までご相談下さい。

住宅用火災警報器相談室 0120-565-911
(フリーダイヤル)
日本火災警報器工業会 03-3831-4318